

小児アレルギーの「保健指導」充実へ、ツールを作成し活用を図る事業

【事業費総額 5,928 千円（WAM 助成金 5,107 千円）】



公衆衛生学会総会の様子



長野市保健所で行った研修会の様子

団体設立経緯

アレルギー疾患患者（児）の生活の質、医療環境の向上を目的に平成 11 年に団体を設立しました。

令和 4 年の「アレルギー疾患対策の推進に関する基本的な指針」の改正を受け、小児アレルギーにかかる保健指導が充実した内容で取り組まれることを目指して、今回の事業を実施しました。

事業実施内容

「母子保健の現場で使いやすいツール」と「研修機会の確保」のニーズを把握し、保健指導に活用できる冊子の作成や、オンライン研修会および専門医が少ない地域に直接赴き現地開催の研修会を実施しました。

国立成育医療研究センター等の協力のもと作成した「母子保健事業で取り組むアレルギー疾患の発症予防・重症化予防（改訂版）」、「赤ちゃんのアレルギー疾患が気になりな保護者の方へ」は、最新の医学的知見を踏まえた内容に加え、利用者アンケートを反映して、現場での実用性がより高いものとなりました。

また、関連する 8 つの学会での展示や発表を行い、日本助産師会全会員へ 1 万部の冊子を寄贈するなど全国的な活動普及にも努めました。

これらの事業を通じて、乳幼児期の「保健指導」の充実に貢献しました。

事業成果

当初の目標を大きく上回り、専門職向けに 4 万部、当事者向けに 6 万部の冊子を配布し、幅広く「保健指導」の普及啓発に寄与できました。

オンライン研修会では 2,960 名、対面の研修会では専門職 197 名と母子 20 組の参加があり、専門職ならびに当事者に向けた研修機会を確保し、アレルギー疾患への適切な理解を推進しました。

同事業に対する評価

各種の連携先との連携強化を図り当初の数値目標を大幅に上回る成果をあげている点、事業内容に対するネガティブな評価の分析を行い、課題の把握等に取り組み、また、各種の学術分野においても成果報告を実施できている点などを評価しています。

保健医療政策的な活動に留まらず、こどもの健全な発達と保護者の不安や負担の軽減のための子育て支援事業の一つとして、政策化、制度化に取り組まれることを期待しています。

特定非営利活動法人
アレルギーを考える母の会
(神奈川県横浜市)



URL <https://hahanokai.org/>